（2）専門基礎分野

〖ねらいと構成〗

看護に必要な人体の構造と機能、おもな病態のメカニズムと診断、治療に関する基礎的な知識を理解する。
健康や生活を支えている社会保障制度や保健医療制度を理解し、保健医療福祉チームのメンバーと協働し、看護者としての役割を果たすための基礎的な知識を理解する。

専門基礎分野 22単位	人体の構造と機能 16単位	形態機能学Ⅰ	1単位 30時間	ヒトのからだのしくみ（ホルモン、心臓と血管、脳や神経のしくみ）
		形態機能学Ⅱ	1単位 30時間	ヒトのからだのしくみ（ガス交換、骨格と筋、消化器、腎泌尿器）
		栄養・代謝	1単位 30時間	代謝のメカニズム　体内の恒常性維持機構
		看護形態機能学	1単位 30時間	命を支えるからだのしくみと看護の視点
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	1単位 30時間	疾病の成り立ちと人体に生じる変化
		治療概論Ⅰ	1単位 30時間	診断と治療の基礎的知識
		治療概論Ⅱ	1単位 30時間	薬物療法の安全管理　治療薬の特徴
		治療概論Ⅲ	1単位 30時間	微生物の種類と特徴　生体防御機構
		病態治療論Ⅰ	1単位 30時間	呼吸器の障害 感覚器（耳鼻咽喉）の障害
		病態治療論Ⅱ	1単位 30時間	循環器の障害 血液・造血器の障害
		病態治療論Ⅲ	1単位 30時間	消化器の障害 運動器の障害
		病態治療論Ⅳ	1単位 30時間	内分泌・代謝機能の障害 腎・泌尿器の障害
		病態治療論Ⅴ	1単位 30時間	脳・神経系の障害 感覚器（視覚）の障害
		病態治療論Ⅵ	1単位 30時間	成長・発達　小児に特有な健康障害
		病態治療論Ⅶ	1単位 30時間	生命の連続性をつくり出す器官の障害 感覚器（皮膚）の障害
		病態治療論Ⅷ	1単位 30時間	精神の機能と障害
	健康支援と社会保障制度 6単位	医療論	1単位 15時間	医療の歴史、倫理、医療の抱える今日的問題・課題
		公衆衛生学	1単位 15時間	人と環境との関わりが健康に及ぼす影響 社会における組織的な保健活動
		社会福祉	1単位 30時間	社会福祉の概念　社会保障制度 社会福祉援助制度
		関係法規	1単位 20時間	看護に必要な法規
		臨床栄養学	1単位 15時間	ライフサイクルと栄養　健康障害と食事療法
		チーム医療の基礎	1単位 30時間	他職種の役割・機能　チーム医療

科目群：専門基礎分野【人体の構造と機能】

6年度	授業科目	形態機能学Ⅰ	担当教員	西井　一宏	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	30

授業科目に関連した実務経験の内容	臨床検査技師経験11年
実務経験を活かした実践的な授業内容	臨床検査技師としての臨床経験に基づいた講義により、人体の構造と機能を学ぶ。

学習目的・目標

目的：これから病気や看護の勉強を進めていくのに必要なヒトのからだのしくみを学ぶことを望みます。
目標：学生自身が学び、以下のしくみがわかり、説明ができることを望みます。

1. 人体を形づくる構造と機能について、人体の発生や人体を構成する細胞・組織の形態や機能を理解する
2. 血液を送る心臓や血管のしくみを理解する
3. 血液のしくみを理解する
4. 食物を消化し、栄養素を吸収する消化器のしくみを理解する
5. 息をするしくみを理解する
6. 生体の防御機構と体温調節のメカニズムについて理解する

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1～2	／	1. 人体の構造と機能を学ぶ意味 2. 人体の細胞と組織、器官系 3. 構造と機能からみた人体 （1）体腔と膜 （2）植物機能と動物機能 （3）体液とホメオスタシス	講義	教室	
3～5	／	1. 心臓の形態と機能 2. 血管の形態 （1）動脈 （2）静脈 3. 血管の循環とその調整 4. リンパ管	講義	教室	
6～7	／	1. 血液の成分と働き 2. 血液の凝固 3. 血液型 4. 間質液	講義	教室	
8～10	／	1. 口腔・咽頭・食道の形態と機能 2. 腹部消化管（胃・小腸・大腸）の形態と機能 3. 腹部内臓（膵臓・肝臓・胆嚢）の形態と機能 4. 腹膜	講義	教室	
11～13	／	1. 呼吸器の形態 （1）上気道 （2）下気道と肺 （3）胸膜・縦隔 2. 肺 （1）呼吸運動 （2）肺の呼吸機能 （3）呼吸の調節	講義	教室	
14～15	／	1. 皮膚の形態と機能 2. 生体の防御機構 3. 体温とその調節	講義	教室	

評価方法	筆記試験で評価します。配点は100点、試験時間は60分です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。

教科書	1 医学書院 系統看護学講座 専門基礎 『解剖生理学』 人体の構造と機能①
参考書	メディックメディア社 病気がみえる vol. 1、3～Vol. 12（3年間の間には購入しておいた方がいいと思われる本ですが、改訂が入ることもあるので、出来るだけ新しく発売されたものか、もしくは、3年生の病棟実習に行く際に購入するのがお勧めです。電子書籍版もあるので、実習への持ち運びには電子書籍版のほうが今後利用には有効かもしれません。）
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【人体の構造と機能】

6年度	授業科目	形態機能学Ⅱ	担当教員	河村　洋子	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	30

授業科目に関連した実務経験の内容	看護師国家試験対策講師経験11年
実務経験を活かした実践的な授業内容	看護師国家試験対策講師の経験に基づいた講義により、人体の構造と機能を学ぶ。

学習目的・目標

目的：これから病気や看護の勉強を進めていくのに必要なヒトのからだのしくみを学ぶことを望みます。
目標：学生自身が学び、以下のしくみがわかり、説明ができることを望みます。

1. 体を支える骨の仕組みや体を動かす筋肉のしくみを理解する
2. 情報を伝える脳と神経のしくみを理解する
3. 神経系に関する固有の形態と機能を理解する
4. 体内の恒常性を維持するためのホルモンをつくるしくみを理解する
5. 尿をつくり排泄するしくみを理解する
6. 体内の電解質・酸塩基のバランスを保つしくみを理解する
7. 感覚を伝えるしくみを理解する
8. 生殖のしくみと人体発生の過程について理解する

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1・2	／	1. 腎臓及び尿路系の形態と機能 2. 体液の調節	講義	教室	
3・4	／	1. 内分泌腺の形態と機能 （1）内分泌器官 下垂体・甲状腺・副甲状腺・膵臓・副腎・性腺・松果体 （2）その他のホルモン 消化管・腎臓・胸腺・心臓など 2. ホルモン分泌の調節	講義	教室	
5・6	／	1. 男性生殖器の形態と機能 2. 女性生殖器の形態と機能 3. 人体の発生の初期過程	講義	教室	
7～11	／	1. 神経系の成り立ち 2. 神経細胞の生理 3. 中枢神経系 （1）脊髄 （2）脳幹・間脳・小脳・大脳 （3）伝達路 4. 末梢神経系 （1）体性神経系 （2）自律神経系の特徴と調節	講義	教室	
12・13	／	1. 眼の形態と視覚 2. 耳の形態と聴覚・平衡覚 3. 味覚と嗅覚 4. 疼痛	講義	教室	
14・15	／	1. 骨格系と筋系 （1）骨と骨格筋 （2）体幹の骨格と筋 （3）上肢・下肢の骨格と筋 （4）頭蓋と頭頸部の筋 2. 運動の調節 筋の働きと変化	講義	教室	

評価方法	筆記試験で評価します。（出席状況は加味しません）。配点は100点、試験時間は60分です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。 試験問題は、四肢択一、五肢択一、五肢択二の問題、50問です。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門基礎 『解剖生理学』 人体の構造と機能①
参考書	メディックメディア社 病気がみえる vol. １、３～Vol. １２（3年間の間には購入しておいた方がいいと思われる本ですが、改訂が入ることもあるので、出来るだけ新しく発売されたものか、もしくは、3年生の病棟実習に行く際に購入するのがお勧めです。電子書籍版もあるので、実習への持ち運びには電子書籍版のほうが今後利用には有効かもしれません。）
履修上 の 留意点	授業などで気になる事がありましたら、お教えください。 また、質問や疑問点などありましたら、質問して下さい。

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【人体の構造と機能】

6年度	授業科目	栄養・代謝	担当教員	大橋　篤	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	30

授業科目に関連した実務経験の内容	臨床検査技士12年、臨床工学技士7年
実務経験を活かした実践的な授業内容	臨床検査技師および臨床工学技士としての臨床経験を活かした講義により、生命現象を可能にしている化学反応や体内の恒常性維持機構及び栄養素の消化・吸収過程に関する知識を学ぶ。
学習目的・目標	目的：生命現象を可能にしている化学変化や体内の恒常性維持機構について学ぶ。 目標：1. 生体内でのエネルギー獲得のしくみを理解する。 2. 生体の恒常性維持に関連して糖質・脂質・蛋白質等の代謝が有機的につながっていることを理解する。 3. 各栄養素の消化・吸収過程を理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	生化学の基礎（生体の成り立ちと構成成分）	講義	教室	
2	／	細胞の構造（細胞の構造および細胞内小器官の働き）	講義	教室	
3	／	糖質（糖質の構造と分類ならびに性質）	講義	教室	
4	／	脂質（脂質の構造や分類と血液中のリポタンパク質の分類）	講義	教室	
5	／	タンパク質（アミノ酸とタンパク質の構造や機能的分類）	講義	教室	
6	／	核酸・ビタミン（核酸の構造と分離、ビタミンの分類と役割）	講義	教室	
7	／	酵素と補酵素（酵素と補酵素の分類と役割）	講義	教室	
8	／	糖質代謝1（解糖系とクエン酸回路および電子伝達系）	講義	教室	
9	／	糖質代謝2（グリコーゲン代謝と五炭糖リン酸経路および糖新生）	講義	教室	
10	／	脂質代謝1（脂肪酸の分解と生合成）	講義	教室	
11	／	脂質代謝2（コレステロールの代謝と血中リポタンパク質）	講義	教室	
12	／	タンパク質代謝（タンパク質とアミノ酸の分解および尿素回	講義	教室	
13	／	核酸とポルフィリン代謝（核酸およびポルフィリン代謝）	講義	教室	
14	／	遺伝情報（細胞周期とタンパク質合成のための転写・翻訳	講義	教室	
15	／	試験（60分）、授業のまとめ		教室	

評価方法	筆記試験で評価します。配点は100点です。
教科書	医学書院　系統看護学講座 『生化学』 人体の構造と機能②
参考書	NOUVELE HIROKAWA 『わかりやすい生化学』 第5版
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【人体の構造と機能】

6年度	授業科目	看護形態機能学	担当教員	近藤　ゆかり 水野　千恵 笹尾　みゆき	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	30

学習目的・目標	目的：形態機能学の知識からコンセプトの視点で疾患を理解し、アセスメントすることで看護を考えることができる。 目標：1.形態機能学の知識を活用し、各コンセプトの視点で体内での役割を考えることができる。 2.コンセプトの視点で疾患を考えることができる。 3.コンセプトの視点でアセスメントができ、看護を考えることができる。

回数	月日	学習内容	方法	場所	担当	課題
1	／	1.「生きていること」のアセスメント。恒常性について。	講義	教室	水野 笹尾	ワークシート
2	／	2.「水と電解質」の基本について。体内での役割。	講義	教室		コンセプトシート
3	／	3.「水と電解質」から考える疾患の理解と看護。	講義	教室		ワークシート
4	／	4.「ガス交換」の基本について。体内での役割	講義	教室		コンセプトシート
5	／	5.「ガス交換」から考える疾患の理解と看護。	講義	教室		ワークシート
6	／	6.「灌流」の基本。体内での役割。	講義	教室		コンセプトシート
7	／	7.「灌流」から考える疾患の理解と看護。	講義	教室		ワークシート
8	／	8.「食べる」を支える形態機能を理解する	講義	教室	近藤	白地図 コンセプトシート
9	／	9.「栄養」から「低栄養」を考える	講義 GW	教室		コンセプトシート
10	／	10.「出血を止める」しくみを理解する 「出血を止める」しくみの異常	講義 GW	教室		コンセプトシート ワークシート
11	／	11.「からだを外敵から守る」しくみ	講義	教室		コンセプトシート
12	／	12.「からだを外敵から守る」しくみの異常	講義 GW	教室		ワークシート
13	／	13.「からだを治す」しくみ	講義	教室		コンセプトシート
14	／	14.「からだを治す」しくみの異常	講義 GW	教室		ワークシート
15	／	試験（45分）、授業のまとめ		教室	水野 笹尾	

評価方法	試験と課題で総合評価します。試験は45分で実施し、配点は100点です。 （配点は1～7回(水野先生）の範囲が50点、8～14回（近藤先生）の範囲が50点）
教科書	①医学書院　系統看護学講座 『解剖生理学』 人体の構造と機能① ②メヂカルフレンド社 『形態機能学』 人体の構造と機能③ ③医学書院　系統看護学講座 『臨床看護総論』 基礎看護学④ ④医学書院　系統看護学講座 『病理学』 疾病の成り立ちと回復の促進1 ⑤医学書院　系統看護学講座 『生物学』
参考書	メディックメディア　病気がみえるシリーズ
履修上の留意点	・授業の理解を深めるためには、形態機能学の理解が重要です。事前に形態機能学Ⅰ・Ⅱの復習をして臨みましょう。 ・課題がほぼ毎回あります。そのつもりで計画的に取り組みましょう。

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病理学	担当教員	伊藤　真文	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	30

授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験43年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（病理診断科）としての経験に基づいた講義により、病気の原因、成り立ち、発生機序を学ぶ。
学習目的・目標	目的：疾病の成り立ちと人体に生じる変化について学ぶ。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	1. 病理学で学ぶこと、細胞・組織の障害と修復　1	講義	教室	
2	／	2. 細胞・組織の障害と修復　2	講義	教室	
3	／	3. 循環障害　1	講義	教室	
4	／	4. 循環障害　2	講義	教室	
5	／	5. 炎症と免疫、移植と再生医療　1	講義	教室	
6	／	6. 炎症と免疫、移植と再生医療　2	講義	教室	
7	／	7. 感染症　1	講義	教室	
8	／	8. 感染症　2、代謝障害　1	講義	教室	
9	／	9. 代謝障害　2	講義	教室	
10	／	10. 先天異常と遺伝子異常	講義	教室	
11	／	11. 腫瘍　1	講義	教室	
12	／	12. 腫瘍　2	講義	教室	
13	／	13. 老化と死	講義	教室	
14	／	14. 生活習慣と環境因子による生体の障害	講義	教室	
15	／	試験、授業のまとめ		教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は45分で実施し、配点は100点です。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門基礎分野 『病理学』 疾病のなりたちと回復の促進 1
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	治療概論Ⅰ	担当教員	井上　順子 池田　哲也 川口　道子 河合　紀幸 山口　通孝	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	30

【井上順子】 授業科目に関連した実務経験の内容	臨床検査技師経験35年
実務経験を活かした実践的な授業内容	臨床検査技師としての経験に基づいた講義により、臨床検査における基礎的知識を学ぶ。
【池田哲也】 授業科目に関連した実務経験の内容	診療放射線技師経験40年
実務経験を活かした実践的な授業内容	診療放射線技師としての経験に基づいた講義により、放射線における検査と治療の基礎的知識を学ぶ。
【川口道子】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験19年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（麻酔科）としての臨床経験に基づいた講義により、周術期の基礎的知識を学ぶ。
【河合紀幸】 授業科目に関連した実務経験の内容	臨床工学技士経験26年
実務経験を活かした実践的な授業内容	臨床工学技士としての経験に基づいた講義により、医療機器のしくみと取り扱いについての基礎的知識を学ぶ。
【山口通孝】 授業科目に関連した実務経験の内容	理学療法士経験17年
実務経験を活かした実践的な授業内容	理学療法士としての経験に基づいた講義により、リハビリテーションについての基礎的知識を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　診断と治療の基礎的知識を学ぶ。

回数	月日	学習内容	方法	場所	担当	課題
1	／	臨床検査の基礎、主な臨床検査	講義	教室	井上	
2	／	血液検査と免疫・血清検査	講義	教室		
3	／	ホルモン検査と病理検査	講義	教室		
4	／	生理機能検査	講義	教室		
5	／	放射能について	講義	教室	池田	
6	／	放射線治療について	講義	教室		
7	／	外科領域の診断と管理の基本	講義	教室	川口	
8	／	手術侵襲と生体の反応	講義	教室		
9	／	各種麻酔法	講義	教室		
10	／	術後合併症	講義	教室		
11	／	ME機器と看護①　電気・ガスなどの特性	講義	教室	河合	
12	／	ME機器と看護②　測定・治療機器の基本説明	講義	教室		

13	／	リハビリテーション概論	講義	教室	山口	
14	／	リハビリテーションの実際	講義	教室		
15	／	リハビリテーションの実習　杖歩行・移乗動作介助等	講義	実習室		
評価方法		筆記試験で評価します。試験は60分で実施します。 試験は、講義時間外の時間で実施します。 配点は、1～4回（井上先生）の範囲が15分で25点、5・6回（池田先生）の範囲が10分で15点、7～10回（川口先生）の範囲が15分で25点、11・12回（河合先生）の範囲が10分で15点、13～15回（山口先生）の範囲が10分で20点です。				
教科書		井上先生：臨床検査（1～4回）：医学書院　系統看護学講座　別巻 『臨床検査』 池田先生：放射線療法（5・6回）：医学書院　系統看護学講座　別巻 『臨床放射線医学』 川口先生：周術期（7～10回）：医学書院　系統看護学講座　別巻 『臨床外科看護総論』 ：秀和システム 『看護の現場ですぐに役立つ術前・術後ケアの基本』 河合先生：ME機器（11・12回）：医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅰ 『臨床看護総論』 基礎看護学 4 山口先生：リハビリテーション（13～15回）：医学書院　系統看護学講座　別巻 『リハビリテーション看護』				
履修上の留意点						

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

7年度	授業科目	治療概論Ⅱ	担当教員	森　真澄	単位（時間数）	1（30）
第2学年					担当時間数	30

授業科目に関連した実務経験の内容	薬剤師経験32年
実務経験を活かした実践的な授業内容	薬剤師としての経験に基づいた講義により、薬物の特徴、作用の基礎知識及び薬物の管理について学ぶ。
学習目的・目標	目的：　薬物の特徴、作用の基礎知識及び薬物の管理について学ぶ。

回数	月日	学習内容	方法	場所	備考
1	／	薬理学総論（1）	講義	教室	
2	／	薬理学総論（2）	講義	教室	
3	／	抗感染症薬	講義	教室	各論　第3章
4	／	抗がん剤、免疫治療薬	講義	教室	各論　第4章・5章
5	／	抗アレルギー薬、抗炎症薬	講義	教室	各論　第6章
6	／	末梢での神経活動に作用する薬物	講義	教室	各論　第7章
7	／	中枢神経系に作用する薬物（精神疾患治療薬）	講義	教室	各論　第8章
8	／	中枢神経系に作用する薬物（麻酔薬、麻薬性鎮痛薬）	講義	教室	
9	／	循環器系に作用する薬物 （降圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬）	講義	教室	各論　第9章
10	／	利尿薬、脂質異常症治療薬、血液に作用する薬物	講義	教室	
11	／	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	講義	教室	各論　第10章
12	／	物質代謝、皮膚科用薬、眼科用薬に作用する薬物	講義	教室	各論　第11章・12章
13	／	救急の際に使用される薬物、漢方薬	講義	教室	各論　第13章・14章
14	／	消毒薬、輸液、輸血	講義	教室	各論　第15章・付章
15	／	試験、授業のまとめ		教室	

評価方法	試験で評価します。試験は45分で実施し、配点は100点です。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門基礎分野 『薬理学』 疾病のなりたちと回復の促進 3
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群:専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	治療概論Ⅲ	担当教員	刑部　恵介	単位(時間数)	1(30)
第1学年					担当時間数	30

授業科目に関連した実務経験の内容	臨床検査技師23年
実務経験を活かした実践的な授業内容	臨床検査技師としての臨床経験を活かした講義により、微生物の生態及び人体に及ぼす影響や反応、滅菌・消毒に関する知識を学ぶ。
学習目的・目標	目的:　微生物の生態を学び、人体に及ぼす影響や反応及び滅菌・消毒に関する知識を学ぶ。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	微生物学総論	講義	教室	
2	／	細菌の性質	講義	教室	
3	／	真菌・ウイルスの性質	講義	教室	
4	／	感染に対する生体防御機構(自然免疫)	講義	教室	
5	／	感染に対する防御機構(獲得免疫)	講義	教室	
6	／	感染と感染症	講義	教室	
7	／	試験、授業のまとめ	講義	教室	
8	／	感染症の予防	講義	教室	
9	／	感染症の治療	講義	教室	
10	／	呼吸器感染症(1)	講義	教室	
11	／	呼吸器感染症(2)	講義	教室	
12	／	消化器・性感染症	講義	教室	
13	／	神経系・真菌感染症	講義	教室	
14	／	ウイルス感染症	講義	教室	
15	／	試験、授業のまとめ		教室	

評価方法	中間試験と最終試験を筆記試験で行います。 中間試験と最終試験を各60分、100点で実施し、合計点を平均して最終評価を出します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門基礎『微生物学　疾病のなりたちと回復の促進[3]』
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病態治療論Ⅰ	担当教員	大野　城二	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	20

授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験33年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（呼吸器科）としての臨床経験に基づいた講義により、呼吸器系の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：呼吸器系の病気の原因、病気の病態・検査・治療について理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	1. 呼吸器の構造と機能	講義	教室	
2	／	2. 呼吸器の検査、たんの検査、スパイロメトリー 血ガスとサチュレーション、感染症（インフルエンザ）	講義	教室	
3	／	3. インフルエンザと肺炎一般について	講義	教室	
4	／	4. 肺結核について、肺真菌症	講義	教室	
5	／	5. 間質性肺炎、塵肺、喘息	講義	教室	
6	／	6. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）、サルコイドーシス、過換気症候群、気管支拡張症	講義	教室	
7	／	7. 睡眠時無呼吸症候群（SAS）、肺癌診断（L・K）の診断まで（前半）	講義	教室	
8	／	8. 肺癌（L・K）のstagingと治療（後半）	講義	教室	
9	／	9. 胸膜疾患（気胸、胸膜炎）、ターミナルケア	講義	教室	
10	／	10. 中皮腫、縦隔腫瘍、肺梗塞、術後の看護	講義	教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は30分で実施し、配点は70点です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ 『呼吸器』 成人看護学 2
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病態治療論Ⅰ	担当教員	田中　宏明	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	10

授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験30年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（耳鼻咽喉科）としての臨床経験に基づいた講義により、感覚器系（耳鼻咽喉）の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　感覚器系（耳鼻咽喉）の病気の原因、病気の病態・検査・治療について理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	1. 耳の構造と機能、聴覚・平衡機能検査、耳のCT、外耳疾患	講義	教室	
2	／	2. 耳の疾患、のどの解剖と疾患	講義	教室	
3	／	3. のどの疾患	講義	教室	
4	／	4. 鼻の解剖と疾患	講義	教室	
5	／	5. 唾液腺腫、テスト対策	講義	教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は15分で実施し、配点は30点です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　『耳鼻咽喉』　成人看護学 14
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病態治療論Ⅱ	担当教員	齋藤　誠	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	20

授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験39年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（循環器内科）としての臨床経験に基づいた講義により、循環器系の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　循環器及び血液・造血器系の病気の原因、病気における形態・機能の変化を学び、治療について理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	1.循環器の構造と働き	講義	教室	
2	／	2.ショックと心不全	講義	教室	
3	／	3.心臓疾患の症状	講義	教室	
4	／	4.心臓疾患の検査法	講義	教室	
5	／	5.先天性心疾患	講義	教室	
6	／	6.心臓弁膜症	講義	教室	
7	／	7.心膜炎、心筋炎、心筋症	講義	教室	
8	／	8.血圧異常、動脈系・静脈系疾患	講義	教室	
9	／	9.虚血性心疾患	講義	教室	
10	／	10.不整脈	講義	教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は30分で実施し、配点は60点です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ 『循環器』 成人看護学 3
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病態治療論Ⅱ	担当教員	宮崎　仁	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	10

授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験37年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（血液内科）としての臨床経験に基づいた講義により、血液・造血器系の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　血液・造血器系の病気の原因、病気の病態・検査・治療について理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	担当
1	／	1．血液の成分と機能（総論）	講義	教室	
2	／	2．血液・造血器の疾患の病態と診断・治療 ・貧血（鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、二次性貧血）	講義	教室	
3	／	3．血液・造血器の疾患の病態と診断・治療 ・造血器腫瘍（急性白血病）	講義	教室	
4	／	4．血液・造血器の疾患の病態と診断・治療 ・造血器腫瘍（骨髄増殖性腫瘍、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫	講義	教室	
5	／	5．血液・造血器の疾患の病態と診断・治療 ・出血性疾患（特発性血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病、血友病、播種性血管内凝固症候群）	講義	教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験時間は15分、配点は40点です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座 『専門分野Ⅱ　血液・造血器　成人看護学4』
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病態治療論Ⅲ	担当教員	荘加　道太 和田　応樹	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	18

【荘加道太】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験15年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（外科）としての臨床経験に基づいた講義により、消化器系の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
【和田応樹】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験37年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（乳腺外科）としての臨床経験に基づいて、乳腺についての構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：消化器系の病気の原因、病気における形態・機能の変化を学び、検査・治療について理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	担当	課題
1	／	1. 食道の構造、機能、疾患 食道癌・食道アカラジア・胃食道逆流症	講義	教室	荘加	
2	／	2. 胃・十二指腸の構造、機能、疾患① 胃癌	講義	教室		
3	／	3. 胃・十二指腸の疾患② 機能性ディスペプシア・胃十二指腸潰瘍	講義	教室		
4	／	4. 下部消化管の疾患 大腸癌・クローン病・潰瘍性大腸炎・虫垂炎	講義	教室		
5	／	5. 膵臓の構造、機能、疾患 急性膵炎・慢性膵炎・膵癌	講義	教室		
6	／	6. 肝臓の疾患① 肝炎	講義	教室		
7	／	7. 肝臓の疾患② 肝硬変・肝癌	講義	教室		
8	／	8. 消化器疾患のまとめ	講義	教室		
9	／	9. 乳癌	講義	教室	和田	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は、荘加先生が25分で50点、和田先生が5分で10点です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	荘加先生：医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ 『消化器』 成人看護学 5 和田先生：医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ 『女性生殖器』 成人看護学　9
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病態治療論Ⅲ	担当教員	犬飼　規夫 三井　洋明	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	12

【犬飼規夫】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験21年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（整形外科）としての臨床経験に基づいた講義により、運動器系の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
【三井洋明】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験13年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（整形外科）としての臨床経験に基づいた講義により、運動器系の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。

学習目的・目標	目的：運動器系の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。

回数	月日	学習内容	方法	場所	担当	課題
1	／	1. 骨折総論 原因・種類・症状・診断・合併症・治療法 2. 関節の捻挫	講義	教室	犬飼	
2	／	3. 大腿骨近位部骨折（大腿骨頚部骨折、大腿骨転子部骨折） 危険因子・予防・治療	講義	教室		
3	／	4. 運動器（関節・筋肉・神経機能）の診察、検査、診断	講義	教室		
4	／	5. 運動器の治療学 ギプス固定法・牽引療法・装具療法 6. 関節リウマチ	講義	教室	三井	
5	／	7. 骨粗鬆症 脆弱性脊椎椎体骨折・仙骨脆弱性骨折	講義	教室		
6	／	8. 腰痛症 原因・予防・治療 9. 椎間板ヘルニア	講義	教室		

評価方法	筆記試験で評価します。試験は15分で実施し、配点は40点です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ 『運動器』 成人看護学10
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病態治療論Ⅳ	担当教員	川久保　充裕	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	18

授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験14年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（糖尿病・内分泌内科）としての臨床経験に基づいた講義により、内分泌・代謝系の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。

学習目的・目標	目的：内分泌・糖尿病疾患について、その病態・検査・治療について理解する。疾患に合わせた適切な患者の療養指導が行えるような知識を身につけ、実践できるようにする。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	/	1. 内分泌系の器官の構造と機能 視床下部－下垂体前葉ホルモン・成長ホルモン 成長ホルモン産生腫瘍	講義	教室	
2	/	2. 内分泌系とホルモン　下垂体後葉ホルモン プロラクチン・バソプレッシン・オキシトシン・メラトニン	講義	教室	
3	/	3. 糖尿病の診断・症状・合併症	講義	教室	
4	/	4. 糖尿病の治療 食事療法・運動療法・薬物療法	講義	教室	
5	/	5. メタボリック症候群・痛風	講義	教室	
6	/	6. 甲状腺疾患 甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症・甲状腺腫瘍	講義	教室	
7	/	7. 副甲状腺、性腺ホルモン、消化管ホルモン 原発性/続発性副甲状腺機能亢進症 原発性/続発性、偽性副甲状腺機能低下症	講義	教室	
8	/	8. 副腎皮質の疾患 アジソン病・クッシング症候群・原発性アルドステロン症	講義	教室	
9	/	9. 副腎髄質の疾患 褐色細胞腫	講義	教室	

評価方法	筆記試験と糖尿病患者に対するリーフレットで評価します（合計60点）。筆記試験は30分で実施します。 （配点は筆記試験45点、リーフレット15点） 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ 『内分泌・代謝』 成人看護学 6 メディックメディア　病気がみえる 3 『糖尿病・代謝・内分泌』 第5版
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病態治療論Ⅳ	担当教員	平田　朝彦	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	12

【平田朝彦】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験25年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（泌尿器科）としての臨床経験に基づいた講義により、腎・泌尿器系の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　腎・泌尿器系の病気の原因、病態・検査・治療について理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	1.　泌尿器系の疾患の病態と診断・治療 ・腎炎、慢性腎臓病、腎不全	講義	教室	
2	／	2.　泌尿器系の疾患の病態と診断・治療 ・炎症性疾患（腎盂腎炎、膀胱炎）	講義	教室	
3	／	3.　泌尿器系の疾患の病態と診断・治療 ・腫瘍（腎癌、尿管癌、膀胱癌）	講義	教室	
4	／	4.　泌尿器系の疾患の病態と診断・治療 ・腎・尿路結石	講義	教室	
5	／	5.　泌尿器系の疾患の病態と診断・治療 ・排尿障害（過活動膀胱、腹圧性尿失禁、夜尿症）	講義	教室	
6	／	6.　体液調節の疾患の病態と診断・治療 ・酸塩基平衡の異常（アシドーシス、アルカローシス）	講義	教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験時間は15分、配点は40点です。 試験は、講義時間外の時間で実施する。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　『腎・泌尿器』　成人看護学8
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病態治療論Ⅴ	担当教員	野田　篤	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	16

【野田　篤】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験25年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（脳神経外科）としての臨床経験に基づいた講義により、脳神経系の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　脳・神経系の病気の原因、病気の病態・検査・治療について理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	1. 神経組織の構造と機能	講義	教室	
2	／	2. 中枢神経系について	講義	教室	
3	／	3. 末梢神経系、自律神経系、意識水準について	講義	教室	
4	／	4. 脳腫瘍について	講義	教室	
5	／	5. 高血圧性脳内出血、クモ膜下出血について	講義	教室	
6	／	6. 虚血性脳血管障害、髄膜炎について	講義	教室	
7	／	7. パーキンソン病、重症筋無力症、アルツハイマー病など	講義	教室	
8	／	8. まとめ	講義	教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は25分で実施し、配点は60点です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ 『脳・神経』 成人看護学 7
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

6年度	授業科目	病態治療論Ⅴ	担当教員	岩田　恵美 小柳　俊人	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	14

【岩田恵美】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験27年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（眼科）としての臨床経験に基づいた講義により、感覚器系（眼）の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
【小柳俊人】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験13年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（眼科）としての臨床経験に基づいた講義により、感覚器系（眼）の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　感覚器系（眼）の病気の原因、病気の病態・治療・検査について理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	担当	課題
1	/	1. 眼の構造と機能 2. 角膜潰瘍、白内障、下垂体腫瘍	講義	教室	小柳	
2	/	3. 眼科の検査 視力検査・屈折検査・細隙灯検査・眼底検査・眼底画像診断 蛍光眼底造影検査・視野検査・色覚検査・斜視検査・ 超音波検査	講義	教室	小柳	
3	/	4. 眼の機能障害 屈折の異常・調整の異常・色覚の異常・弱視 眼位・眼球運動の異常 5. 眼瞼の疾患 麦粒腫・霰粒腫・眼瞼炎・眼瞼内反・睫毛乱生・眼瞼外反・兎眼 眼瞼下垂 6. 結膜の疾患 細菌性結膜炎・流行性角結膜炎・咽頭結膜炎・トラコーマ 急性出血性結膜炎・春季カタル・フリクテン・結膜下出血 アレルギー性結膜炎・翼状片・結膜乾燥症 7. 涙器の疾患 鼻涙管閉塞・慢性涙嚢炎・急性涙嚢炎	講義	教室	岩田	
4	/	8. 網膜疾患 糖尿病性網膜症・網膜動脈静脈閉塞・網膜剥離 網膜色素変性症・加齢黄斑変性・未熟児網膜症	講義	教室	小柳	
5	/	9. 角膜、水晶体、強膜、ぶどう膜、神経系外傷の疾患	講義	教室	岩田	
6・7	/	10. 眼科外来見学	見学 実習	市民病院	岩田 小柳	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は20分で実施し、配点は40点です。 （配点は2講師各々10分で20点） 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ 『眼』 成人看護学 13
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

7年度	授業科目	病態治療論Ⅵ	担当教員	岩瀬　一弘	単位（時間数）	1（30）
第2学年					担当時間数	30

授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験32年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（小児科）としての臨床経験に基づいた講義により、小児の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　小児の主な病気の原因、診断・治療について学ぶ。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	1. 小児の発育と発達	講義	教室	
2	／	2. 先天異常 染色体異常・先天性代謝異常・遺伝子病	講義	教室	
3	／	3. 新生児の生理	講義	教室	
4	／	4. 新生児疾患（1） 低出生体重児	講義	教室	
5	／	新生児疾患（2） 先天性胆道閉鎖症	講義	教室	
6	／	5. 代謝・内分泌疾患 糖尿病・甲状腺機能低下症・甲状腺機能亢進症・ 低身長・思春期早発症	講義	教室	
7	／	6. アレルギー疾患 気管支喘息・食物アレルギー	講義	教室	
8	／	7. ウイルス感染症、予防接種 麻疹・風疹・突発性発疹・水痘・帯状疱疹・伝染性単核球症 単純ヘルペス感染症・伝染性紅斑・流行性耳下腺炎・ 手足口病	講義	教室	
9	／	8. 細菌感染症 結核症・ブドウ球菌感染症・溶連菌感染症・百日咳・破傷風 ジフテリア・敗血症・髄膜炎	講義	教室	
10	／	9. 呼吸器疾患 喉頭炎・気管支炎・肺炎・膿胸・気管支異物	講義	教室	
11	／	10. 循環器疾患 川崎病・心房中隔欠損症・心室中隔欠損症・動脈管開存症	講義	教室	
12	／	11. 消化器疾患 乳幼児下痢症・サルモネラ腸炎・病原大腸菌性腸炎・ 腸重積・ヒルシュスプルング病・肥厚性幽門狭窄症	講義	教室	
13	／	12. 血液疾患、悪性腫瘍 白血病・血小板減少性紫斑病・血友病・造血性障害 鉄欠乏性貧血・腹部腫瘍・縦隔腫瘍・網膜芽腫	講義	教室	
14	／	13. 腎疾患、神経疾患 急性糸球体腎炎・急性腎炎・慢性腎炎・ネフローゼ症候群・ 尿路感染症・水腎症・膀胱尿管逆流症・てんかん・ 熱性けいれん・母斑症・筋ジストロフィー	講義	教室	
15	／	試験、授業のまとめ		教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は45分で実施し、配点は100点です。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　『小児看護学概論　小児臨床看護総論』 小児看護学 1 医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　『小児臨床看護各論』 小児看護学 2
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

7年度	授業科目	病態治療論Ⅶ	担当教員	廣澤　友也	単位（時間数）	1（30）
第2学年					担当時間数	20

授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験21年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（産婦人科）としての臨床経験に基づいた講義により、女性生殖器の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　女性生殖器の健康障害による形態機能の変化及び治癒過程を促進するための知識を学習する。 目標：　1. 女性生殖器に発生する疾患の病態と診断・検査・治療・予後について理解する。 2. 周産期におこりやすい異常な状態の病態と診断・検査・治療・予後について理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	1.月経周期と性ホルモン動態	講義	教室	
2	／	2.月経異常	講義	教室	
3	／	3.不妊症	講義	教室	
4	／	4.妊娠の異常1	講義	教室	
5	／	5. 妊娠の異常2	講義	教室	
6	／	6. 分娩の異常1	講義	教室	
7	／	7.分娩の異常2	講義	教室	
8	／	8.胎盤、胎位の異常	講義	教室	
9	／	9.女性生殖器の疾患1	講義	教室	
10	／	10.女性生殖器の疾患2	講義	教室	

評価方法	授業中のプレゼンテーションとレポート、及び、試験で評価します。 試験時間は30分、配点は70点とします。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門　『女性生殖器』 成人看護学9 医学書院　系統看護学講座　専門　『母性看護学各論』 母性看護学2
参考書	医学書院　系統看護学講座　専門 『母性看護学概論』
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

7年度	授業科目	病態治療論Ⅶ	担当教員	尾市　誠	単位（時間数）	1（30）
第2学年					担当時間数	10

授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験19年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（皮膚科）としての臨床経験に基づいた講義により、感覚器系（皮膚）の人体の構造と機能、病態生理と症状、診断過程、主な治療方法を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　内分泌・代謝及び感覚器系（皮膚）の病気の原因、病気における形態・機能の変化を学び、治療について理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	1. 皮膚の構造と機能、表在性皮膚疾患	講義	教室	
2	／	2. 真皮・皮下脂肪織および皮膚付属器の疾患、脈管系の皮膚疾患、物理・化学的皮膚障害	講義	教室	
3	／	3. 腫瘍および色素異常症	講義	教室	
4	／	4. 微生物・動物が関与する疾患	講義	教室	
5	／	5. 内臓疾患に伴う皮膚病変	講義	教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は15分で実施し、配点は30点です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ 『皮膚』 成人看護学 12
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【疾病の成り立ちと回復の促進】

7年度	授業科目	病態治療論Ⅷ	担当教員	川崎　拓史 川崎　真知	単位（時間数）	1（30）
第2学年					担当時間数	30

【川崎拓史】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験31年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師（精神科）としての臨床経験に基づいた講義により、精神医療の歴史的背景と諸問題、精神疾患の症候・診断・治療を学ぶ。
【川崎真知】 授業科目に関連した実務経験の内容	臨床心理士経験26年 公認心理師経験5年
実務経験を活かした実践的な授業内容	臨床心理士・公認心理師としての経験に基づいた講義により、精神療法、心理療法、心理検査を学ぶ。
学習目的・目標	目的：　精神の病気と治癒過程を促進するための知識を学ぶ 目標：　1. 精神疾患の症候・診断・治療を理解する。 2. 精神科医療の歴史・現状・制度的・法的諸問題を理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	担当	課題
1	／	1.精神障害と治療の歴史（1）	講義	教室	川崎拓史	
2	／	2.精神障害と治療の歴史（2）	講義	教室		
3	／	3.精神の健康と障害	講義	教室		
4	／	4.症候学（1）	講義	教室		
5	／	5.症候学（2）	講義	教室		
6	／	6.症候学（3）	講義	教室		
7	／	7.診断学、治療学（1）	講義	教室		
8	／	8.治療学（2）	講義	教室		
9	／	9.精神療法、心理療法、心理検査	講義	教室	川崎真知	
10	／	10.器質性精神障害	講義	教室	川崎拓史	
11	／	11.統合失調症	講義	教室		
12	／	12.気分障害	講義	教室		
13	／	13.神経症、摂食障害、睡眠障害、性機能不全など	講義	教室		
14	／	14.パーソナリティ障害、神経発達障害、その他	講義	教室		
15	／	15.社会、文化	講義	教室		

評価方法	試験で評価します。試験は45分で実施し、配点は100点です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　『精神看護の基礎』 精神看護学 1 医学書院　系統看護学講座　専門分野Ⅱ　『精神看護の展開』 精神看護学 2 医学書院　系統看護学講座　別巻　『精神保健福祉』
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【健康支援と社会保障制度】

6年度	授業科目	医療論	担当教員	禰宜田　政隆	単位（時間数）	1（15）
第1学年					担当時間数	15

授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験37年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師としての臨床経験に基づいた講義により、医療の変遷、医療と看護の原点、医療倫理について学ぶ。
学習目的・目標	目的：医療の本質や歴史・倫理及び医療の抱える今日的な問題について学ぶ。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	医療と看護の原点	講義	教室	
2	／	医療の歩みと医療観の変遷	講義	教室	
3	／	私たちの生活と健康	講義	教室	
4	／	科学技術の進歩と現代医療の最前線	講義	教室	
5	／	現代医療の新たな課題	講義	教室	
6	／	医療を見つめなおす新しい視点	講義	教室	
7	／	保健・医療・福祉の潮流	講義	教室	
8	／	試験		教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は45分で実施し、配点は100点です。
教科書	医学書院　系統看護学講座　専門基礎分野 『総合医療論』 健康支援と社会保障制度 1
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【健康支援と社会保障制度】

7年度	授業科目	公衆衛生学	担当教員	栗田　秀樹	単位（時間数）	1（15）
第2学年					担当時間数	15+研修1

学習目的・目標	広く人間の健康に関わる基礎的事項を学び、人間の健康問題に対する解決策と予防策について理解を深め、健全な生活環境の構築と健康な社会生活を実践する知識を習得する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	公衆衛生の概念（公衆衛生の意義、歴史、健康日本21（第2次）、健康増進法等）	講義	教室	
2	／	環境保健（地球環境汚染、環境保全、公害、廃棄物等）	講義	教室	
3	／	国民栄養と食品保健（食事摂取基準、国民健康・栄養調査、食中毒、食品衛生法等）	講義	教室	
4	／	人口統計（人口静態・動態統計、疾病統計）	講義	教室	
5	／	疾病の疫学と予防（予防医学、疫学、感染性、非感染性疾病の疫学と予防）	講義	教室	
6	／	公衆衛生活動の実際（母子保健、学校保健、老人保健等）	講義	教室	
7	／	公衆衛生活動の実際（精神保健、産業保健、国際保健等）	講義	教室	
8 （1h研修）	／	保健医療論（保健・医療・福祉の資源、地域保健、社会保障制度等）	講義	教室	

評価方法	評価は試験の成績、授業の出席状況、受講態度を総合的に判断して決定します。 試験は45分で実施し、配点は100点です。 試験は、講義時間外の時間で実施します。
教科書	メディックメディア 『公衆衛生がみえる2024-2025』
参考書	厚生統計協会 『国民衛生の動向』2024/2025
履修上の留意点	講義で利用した配布資料等について30分程度復習し、要点をノートにまとめ、理解すること。 講義終了後10分程度教室にて質問を受け付けます。

科目群：専門基礎分野【健康支援と社会保障制度】

7年度	授業科目	社会福祉	担当教員	大藪　元康	単位（時間数）	1（30）
第2学年					担当時間数	30

学習目的・目標	
	1. 社会保障制度の概要を説明することができる。 2.「福祉六法」の概要を述べることができる。 3. 公的扶助（生活保護）制度を説明できる。特に、医療保険・介護保険との関係について、そのしくみと課題を述べることができる。 4. 社会福祉援助技術の概要を理解し、福祉専門職との連携のあり方を説明できる。 5. 社会福祉、社会保障の考え方がどのように生まれたかを説明できる。

回数		学習内容	方法	場所	課題
1	／	現代社会と社会福祉　社会の変化・家族の変化　（第2章）	講義	教室	
2	／	社会保障の全体像　（第1章）	講義	教室	
3	／	社会保障給付費、社会福祉の実施体制・従事者（第1章）	講義	教室	
4	／	社会福祉法と福祉六法（第1章）	講義	教室	
5	／	医療保障制度の概要（第3章）	講義	教室	
6	／	医療保障制度の詳細（第3章）	講義	教室	
7	／	介護保険制度の概要（第4章）	講義	教室	
8	／	介護保険制度の詳細（第4章）	講義	教室	
9	／	年金保険制度（第5章）	講義	教室	
10	／	雇用保険、労災保険、社会手当（第5章）	講義	教室	
11	／	公的扶助制度　生活保護制度の概要（第6章）	講義	教室	
12	／	生活保護制度の課題（第6章）	講義	教室	
13	／	社会福祉のサービス　高齢者福祉（第7章A）	講義	教室	
14	／	社会福祉のサービス　障害者福祉、児童家庭福祉（第7章B・C）	講義	教室	
15	／	社会福祉援助技術（第8章）、社会福祉の歴史（第9章）	講義	教室	

評価方法	試験100% 試験は、講義時間外の時間で実施します。試験時間は45分です。
教科書	医学書院　系統看護学講座　『専門基礎　社会保障・社会福祉　健康支援と社会保障制度[3]』
参考書	
履修上の留意点	新聞やテレビで紹介されている「社会保障」に関する内容などが、この講義の内容に関わります。 授業以外にも社会福祉に関心を持ってみてください。

科目群：専門基礎分野【健康支援と社会保障制度】

8年度	授業科目	関係法規	担当教員	大藪元康、小堀美和、禰宜田政隆、川崖拓史、廣澤友也、森真澄	単位（時間数）	1(20)
第3学年					担当時間数	20

【小堀美和】 授業科目に関連した実務経験の内容	社会保険労務士歴26年
実務経験を活かした実践的な授業内容	社会保険労務士としての実務経験を活かした講義により、実例を用いながら労働基準法を中心に、知っておきたい労働関連法規の知識を身に付ける。
【禰宜田政隆】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験37年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師、病院長としての実務経験を活かした講義により、医療に関係する法規の知識を身に付ける。
【川崖拓史】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験31年
実務経験を活かした実践的な授業内容	精神科医師としての実務経験を活かた講義により、精神保健及び精神福祉に関する法規の知識を身に付ける。
【廣澤友也】 授業科目に関連した実務経験の内容	医師臨床経験21年
実務経験を活かした実践的な授業内容	医師としてまた厚生労働省における実務経験を活かした講義により、感染症や母子保健などに関する法規の知識を身に付ける。
【森　真澄】 授業科目に関連した実務経験の内容	薬剤師臨床経験32年
実務経験を活かした実践的な授業内容	薬剤師としての実務経験を活かした講義により、薬事法に関する法規の知識を身に付ける。

学習目的・目標	目的：看護に必要な法規を学ぶ。 目標：看護職に必要な法を学び、法律で規定されている看護師の業務や責任について理解を深める。

回数	月日	学習内容	方法	場所	担当	課題
1	／	1. 社会保険法と福祉法	講義	教室	大藪	
2	／	2. 労働法（1）	講義	教室	小堀	
3	／	2. 労働法（2）	講義	教室		
4	／	3. 医療関係法規（1）	講義	教室	禰宜田	
5	／	3. 医療関係法規（2）	講義	教室		
6	／	4. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	講義	教室	川崖拓	
7	／	5. 母子保健法・母体保護法・学校保健安全法	講義	教室	廣澤	
8	／	6. 個別対策法	講義	教室		
9	／	7. 感染症に関する法律	講義	教室		

10	／	8. 薬事法	講義	教室	森	
評価方法		試験で評価します。試験は60分で実施し、配点は100点です。 （配点は大藪先生、川崖先生、森先生は各5分で各10点、小堀先生と禰宜田先生は各10分で各20点、廣澤先生は25分で30点） 試験は、講義時間外の時間で実施します。				
教科書		医学書院　系統看護学講座 『専門基礎　看護関係法令』 廣澤先生は、メディックメディア 『公衆衛生がみえる　2024-2025』も使用します				
参考書						
履修上の留意点		教科書を読み新聞・テレビなどから関連のニュースに関心を持つ				

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【健康支援と社会保障制度】

7年度	授業科目	臨床栄養学	担当教員	中井　葵 石田　繁範	単位（時間数）	1（15）
第2学年					担当時間数	15

【中井　葵】 授業科目に関連した実務経験の内容	管理栄養士経験14年
実務経験を活かした実践的な授業内容	管理栄養士としての経験に基づいた講義により、生命の源としての栄養を学ぶ。
【石田　繁範】 授業科目に関連した実務経験の内容	栄養士経験8年、管理栄養士経験10年
実務経験を活かした実践的な授業内容	管理栄養士としての経験に基づいた講義により、生命の源としての栄養を学ぶ。
学習目的・目標	目的：生命の源としての栄養について学び、各疾患における食事療法を理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	1. 食生活と栄養食事療法 2. 医療・福祉の場における栄養食事療法 3. 病人食の特徴と種類	講義	教室	
2	／	4. 循環器疾患患者の栄養食事療法	講義	教室	
3	／	5. 上部消化器疾患患者の栄養食事療法	講義	教室	
4	／	6. 腎疾患、代謝性疾患患者の栄養食事療法	講義	教室	
5	／	7. 呼吸器疾患患者、妊産婦、小児、高齢者の食事療法	講義	教室	
6	／	8. 嚥下障害患者、下部消化器疾患患者の栄養食事療法	講義	教室	
7	／	9. 癌・低栄養・褥瘡、血液疾患、術前術後患者の栄養食事療法	講義	教室	
8	／	試験		教室	

評価方法	筆記試験で評価します。試験は45分で実施し、配点は100点です。
教科書	医学書院　系統看護学講座　別巻 『栄養食事療法』 日本糖尿病学会・文光堂 『糖尿病食事療法のための食品交換表』 第7版
参考書	
履修上の留意点	

※実務経験は令和6年4月1日現在

科目群：専門基礎分野【健康支援と社会保障制度】

7年度	授業科目	チーム医療の基礎	担当教員	今井　清美　他	単位（時間数）	1（30）
第2学年					担当時間数	30

【鈴木康代】 授業科目に関連した実務経験の内容	社会福祉士　22年
実務経験を活かした実践的な授業内容	社会福祉士としての経験を活かした講義により、チーム医療での医療ソーシャルワーカーの役割を学ぶ。
【中垣麻希】 授業科目に関連した実務経験の内容	言語聴覚士　17年
実務経験を活かした実践的な授業内容	言語聴覚士としての経験を活かした講義により、チーム医療でのリハビリ職の役割を学ぶ。
【森　真澄】 授業科目に関連した実務経験の内容	薬剤師　32年
実務経験を活かした実践的な授業内容	薬剤師としての経験を活かした講義により、チーム医療での薬剤師の役割を学ぶ。
【石田繁範】 授業科目に関連した実務経験の内容	栄養士　8年・管理栄養士　10年
実務経験を活かした実践的な授業内容	管理栄養士としての経験を活かした講義により、チーム医療での管理栄養士の役割を学ぶ。
【森田陽介】 授業科目に関連した実務経験の内容	介護福祉士・社会福祉士　13年
実務経験を活かした実践的な授業内容	介護福祉士、社会福祉士としての経験を活かした講義により、施設における多職種連携での 介護福祉士や社会福祉士、介護士の役割を学ぶ。
【杉浦裕美】 授業科目に関連した実務経験の内容	看護師臨床経験　19年　　皮膚・排泄ケア認定看護師　9年
実務経験を活かした実践的な授業内容	看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師としての経験を活かした講義により、チーム医療での看護師、 皮膚・排泄ケア認定看護師の役割を学ぶ。
【畑中英子】 授業科目に関連した実務経験の内容	看護師臨床経験　34年　　摂食・嚥下障害看護認定看護師　15年
実務経験を活かした実践的な授業内容	看護師、摂食・嚥下障害看護認定看護師としての経験を活かした講義により、チーム医療での 看護師、摂食・嚥下障害看護認定看護師の役割を学ぶ。
【前田徳廣】 授業科目に関連した実務経験の内容	作業療法士臨床　9年　　作業療法士教育専任教員　20年　　学科長　6年
実務経験を活かした実践的な授業内容	作業療法士としての経験を活かして、作業療法学科学生とグループワークを通して、チーム医療 について学ぶ。
【今井清美】 授業科目に関連した実務経験の内容	看護師臨床経験　18年　　認知症看護認定看護師経験　14年
実務経験を活かした実践的な授業内容	病院勤務、認知症看護認定看護師としての経験を活かした講義により、チーム医療での看護師の 役割を学ぶ。

学習目的・目標	
	目的：他職種の役割・機能を理解し、チーム医療の意味を考え、チームにおける看護師の役割を学ぶ。 目標：①チーム医療の必要性を理解する ②他職種の役割・機能について理解する ③多職種間のコミュニケーション能力をつける ④対象者の目標達成、ケアの質向上に向けて多職種で深く考える ⑤チームにおける看護師の役割を理解する

回数	月日	学習内容	方法	場所	担当	課題
1	/	チーム医療とは ・チーム医療の必要性、求められるもの　・チーム医療の実際　・今後の方向性	講義	教室	今井	
2	/	他職種の役割と機能の理解 ・チーム医療における専門商の種類、各々の役割を調べよう	講義 GW	教室	今井	
3	/	看護師の役割 ・チーム医療の中での看護師の役割について調べ、考えよう	講義 GW	教室	今井	
4	/	他職種の活動及び多職種連携の実際　（医療ソーシャルワーカー） チーム連携を行った（看護師が登場している）事例を使って実際の活動	講義	教室	鈴木	
5	/	他職種の活動及び多職種連携の実際　（リハビリテーション） チーム連携を行った（看護師が登場している）事例を使って実際の活動	講義	教室	中垣	
6	/	他職種の活動及び多職種連携の実際　（薬剤師） チーム連携を行った（看護師が登場している）事例を使って実際の活動	講義	教室	森	
7	/	他職種の活動及び多職種連携の実際　（管理栄養士） チーム連携を行った（看護師が登場している）事例を使って実際の活動	講義	教室	石田	
8	/	他職種の活動及び多職種連携の実際　（介護福祉士） ・介護保険施設におけるチームケア チーム連携を行った（看護師が登場している）事例を使って実際の活動	講義	教室	森田	
9	/	他職種の活動及び多職種連携の実際　（認定看護師） ・褥瘡、ストーマケアでの看看連携　　褥瘡チームの活動の実際	講義	教室	杉浦	
10	/	多職種連携での看護師の役割	講義	教室	畑中	

11	／	事例検討：事例患者の必要な医療を考える （看護師の立場で）	GW	教室	今井	
12 13	／	事例検討：事例患者の医療を多職種と考える 国際医学技術専門学校（作業療法科） の学生とともに考える	GW	教室	今井 前田	
14	／	発表準備	GW	教室	今井 前田	
15	／	発表会	GW	教室	今井 前田	レポート 課題提示
評価方法		発表会とレポート課題で総合評価します。配点は、発表内容・発表態度50点　レポート課題50点				
教科書		医学書院　系統看護学講座 『看護管理』 看護の統合と実践1				
参考書						
履修上 の 留意点		12～15回目は、国際医学技術専門学校（作業療法科） の学生と連携して学習を行います。				

※実務経験は令和6年4月1日現在